

13010 児童教育演習Ⅰ s Pupil Education Seminar I 13011 児童教育演習Ⅱ s			I : 3年、II : 4年 通年 4単位
担当者	渡部 芳樹	履修可能学科	Pe必
		関 連 資 格	
サブタイトル	教育哲学の地平Ⅰ・Ⅱ—生活経験学習と今日の教育的課題を考える—		
授業内容 ・ ねらい	〔目的〕生活経験学習の理念と構造、さらに今日の教育的課題の背景や構造を理解し、今後の教育のあり方を考える観点の習得を目指します。 〔内容・方法〕今日の学校教育では、子どもの生活経験を通じた学習活動が、広くおこなわれています。しかしながら、なぜ今、学習活動に生活経験が求められるのでしょうか。そもそも生活経験とは何でしょうか。演習Ⅰでは、教育に関する受講者の関心のあるテーマと生活経験との関係について主に歴史的な観点から検討をおこない、レポートを作成します。（場合によっては、後期に教育学の古典を輪読します。） 演習Ⅱでは、教育に関する受講者各自の関心のあるテーマについて、主に哲学的な観点から検討をおこない、レポートを作成します。またこの作業を通じて、「卒業研究」論文の作成をおこないます。これら作業を通じて、教育の根本的な原理を探究すると共に、今後の教育のあり方を模索します。		
授業計画	演習Ⅰでは、以下の内容をおこないます。 ○オリエンテーション ○テーマの設定 ○レポート・口頭発表内容の作成 ○口頭発表、および議論 ○レポート提出 ○場合によっては、後期は、J.デューイの『学校と社会』を輪読します。 演習Ⅱでは、以下の内容をおこないます。 ○オリエンテーション ○テーマの設定 ○論文・口頭発表内容の作成 ○口頭発表、および議論 ○論文の提出＝「卒業研究」論文		
教科書 参考書	教）ジョン・デューイ（市村尚久訳）『学校と社会・子どもとカリキュラム』（講談社学術文庫） 注）本テキストは、場合によっては、児童教育演習Ⅰの後期より使用します。		
評価方法	〔評価〕口頭発表および学期末のレポートにより評価します。また授業態度も評価に加味します。		
事前準備学習 履修条件等	○第1回目の授業時に、本シラバスを持参すること。		